

事務事業評価シート

評価実施年度：平成28年度

上位の施策名称	施策Ⅱ-2-4 障がい者の自立支援
---------	----------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	障がい福祉課長 長岡 秀樹	電話番号	0852-22-6256
----------	---------------	------	--------------

事務事業の名称	障がい者利用施設運営事業		
目的	(1) 対象	視覚・聴覚障がい者	
	(2) 意図	社会参加を促進するために社会福祉法人に委託又は補助金を交付する。	
事業概要	○点字図書館における点字図書・朗読図書等の製作や貸出し、生活訓練事業の実施、各種相談事業等に対して補助する。 ○聴覚障害者情報センターにおいて、字幕・手話入りビデオの貸出し、手話通訳者・要約筆記者の養成、各種相談等を実施する。 ○障がい者スポーツの振興のため、県立はつらつ体育館の管理、運営を行う。		

2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位
1	指標名	目標値		112,000.0	113,000.0	114,000.0	115,000.0	件
	式・定義	取組目標値						
		実績値	110,902.0					
		達成率	—	—	—	—	—	%
2	指標名	目標値						
	式・定義	取組目標値						
		実績値						
		達成率	—	—	—	—	—	%

3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費(b) (千円)	101,222	102,215
うち一般財源 (千円)	63,786	64,588

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

○点字図書等の貸出は、近年パソコン等からのダウンロードによる利用者が増えていたが、27年度は前年度より減少した。

H25 現物貸出41,157件+ダウンロード53,296件= 94,453件
 H26 現物貸出41,918件+ダウンロード97,603件= 139,521件
 H27 現物貸出45,378件+ダウンロード65,524件= 110,902件

6. 成果があったこと（改善されたこと）

点字図書館、聴覚障害者情報センターは、視覚や聴覚に障がいのある方への図書、DVD等の貸出のほか、生活や進路に関する各種相談、手話通訳者など意思疎通支援者の養成・派遣なども行っており、障がい者の社会参加促進につながっている。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
 聴覚障害者情報センター及び西部視覚障害者情報センターの利用登録者数は、視覚障がい又は聴覚障がいにより身体障害者手帳を所持している方の16%程度であり、十分に利用されていない状況にある。
- ②困っている状況が発生している「原因」
 センターを設置していることやサービスの内容等に係る周知が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
 これまでの方法に加え、新たな広報啓発を行っていく必要がある。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

センター広報誌の配布範囲の拡大、ホームページやブログの充実、県の広報媒体の活用等により広報啓発を行っていく。

・課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効果的・効果的に行ってください。
 ・上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）